注１　この表において「スロット」とは第六十条第一項に規定するスロットをいう。
　２　スロットヘッダは、当該スロットがＴＳパケットにより構成される場合は全てのビットを‘1’とし、ＴＬＶパケットにより構成される場合は別記１の構成とする。
　３　電力拡散信号は、別記２のとおりとする。
　４　一のＴＬＶパケットは、複数のスロットにまたがってもよい。

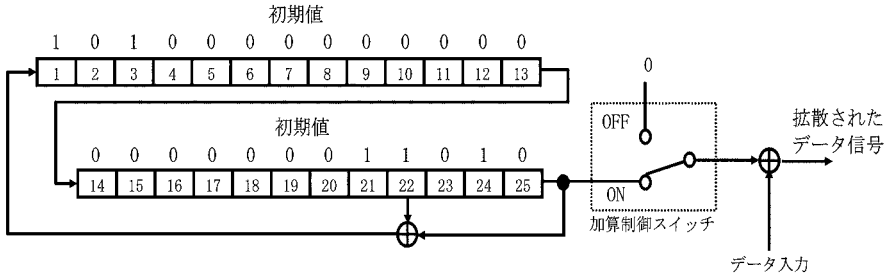
別記１　ＴＬＶパケットにより構成されるスロットにおけるスロットヘッダの構成



注１　先頭ＴＬＶ指示は、未定義の直後から、スロットごとに包含される最初のＴＬＶの先頭位置を示し、スロット中の最初のＴＬＶの先頭バイトの位置を、スロットヘッダを除いたスロット先頭からのバイト数で示す。ただし、先頭バイトが存在しない場合、その値は0xFFFFとする。
　２　未定義は、全てのビットを‘1’とする。

別記２　伝送主信号に対する電力拡散信号

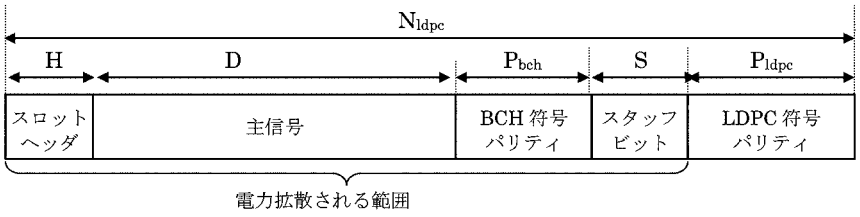
別表第六十二号に示す１フレームを周期とし、次に示す図のように$x^{25}+x^{22}+1$（25次M系列）により発生する擬似乱数符号系列を加算する。ただし、ＬＤＰＣ符号パリティ部分及び無効スロットについては電力拡散を行わないこととし、電力拡散を行わない区間については電力拡散回路の擬似乱数符号系列の発生を停止するものとする。



⊕：排他的論理和の演算素子

別表第六十六号　高度広帯域衛星デジタル放送方式の主信号に関する誤り訂正方式（第60条第２項関係）

１　誤り訂正外符号はＢＣＨ符号、誤り訂正内符号はＬＤＰＣ符号とし、その構成は以下のとおりとする。ただし、搬送波の変調が八相位相変調の場合、誤り訂正内符号の符号化率は89／120以下とする。



符号化率	スロットヘッダビット数［H］	主信号ビット数［D］	ＢＣＨパリティビット数［P_{bch}］	スタッフビット［S］	ＬＤＰＣパリティビット数［P_{ldpc}］	ＬＤＰＣ符号化後ビット数［N_{ldpc}］
41／120	176	14960	192	6	29546	44880
49／120	176	17952	192	6	26554	44880
61／120	176	22440	192	6	22066	44880
73／120	176	26928	192	6	17578	44880
81／120	176	29920	192	6	14586	44880
89／120	176	32912	192	6	11594	44880
97／120	176	35904	192	6	8602	44880
101／120	176	37400	192	6	7106	44880
105／120	176	38896	192	6	5610	44880
109／120	176	40392	192	6	4114	44880

２　ＢＣＨ符号の生成多項式は、次表に示す多項式の積で表されるものとする。

$g_1(x)$	$1+x+x^3+x^{12}+x^{16}$
$g_2(x)$	$1+x^2+x^3+x^4+x^8+x^9+x^{11}+x^{12}+x^{16}$
$g_3(x)$	$1+x^2+x^3+x^7+x^9+x^{10}+x^{11}+x^{13}+x^{16}$
$g_4(x)$	$1+x+x^3+x^6+x^7+x^{11}+x^{12}+x^{13}+x^{16}$
$g_5(x)$	$1+x+x^2+x^3+x^5+x^7+x^8+x^9+x^{11}+x^{13}+x^{16}$
$g_6(x)$	$1+x+x^6+x^7+x^9+x^{10}+x^{12}+x^{13}+x^{16}$
$g_7(x)$	$1+x+x^2+x^6+x^9+x^{10}+x^{11}+x^{15}+x^{16}$
$g_8(x)$	$1+x+x^3+x^6+x^8+x^9+x^{12}+x^{15}+x^{16}$
$g_9(x)$	$1+x+x^4+x^6+x^8+x^{10}+x^{11}+x^{12}+x^{13}+x^{15}+x^{16}$
$g_{10}(x)$	$1+x+x^2+x^4+x^6+x^8+x^9+x^{10}+x^{11}+x^{15}+x^{16}$
$g_{11}(x)$	$1+x^6+x^8+x^9+x^{10}+x^{13}+x^{14}+x^{15}+x^{16}$
$g_{12}(x)$	$1+x+x^2+x^3+x^5+x^6+x^7+x^{10}+x^{11}+x^{15}+x^{16}$

３　ＬＤＰＣ符号は、パリティ検査ビットp_n（n＝０，１，…，$n_{ldpc}-k_{ldpc}-1$）、情報ビットi_m（m＝０，１，…，$k_{ldpc}-1$）としたとき、情報ビットについて374ビットごとに次の演算を繰り返す。なお、パリティ検査ビットの初期値は、$p_0=p_1=p_2=\cdots=P_{n_{ldpc}-k_{ldpc}-1}=0$とする。

$p_x=p_x\oplus i_m$、(m＝０，374，748，…)

$p_y=p_y\oplus i_m$、(m＝１，…，373，375，…，747，749，…)

全ての情報ビットについて演算を行った後、p_nは次式により与えられる。

$p_0=p_0\oplus i_0$

$p_n=p_n\oplus p_{n-1}$、(n＝１，…，$n_{ldpc}-k_{ldpc}-1$)